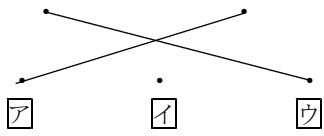


大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点										
1 20 点	(1)		①	技能			7 8 7	5										
	(2)		②	技能			3あまり3 (3・・・3も可)	5										
	(3)		③	技能			1 9 4 1	5										
	(4)		④	技能			2 L 1 dL または 2 1 dL	5										
2 10 点	(1)		⑤	知識			8 (4) 5 (2) (0) 1 (完答のみ)	5										
	(2)		⑥	知識			ウ	5										
3 10 点	(1)		⑦	知識			イ	5										
	(2)		⑧	技能	○ 答えのみ正しく書いている。 ○ 式のみ正しく書いている。	2 3	○ 式と答えを正しく書いている。 80×5=400 答え 400cm	5										
4 5 点			⑨	考え	○ ねん土玉について正しく書いている。 ○ ひごについて正しく書いている。	2 3	○ 両方とも正しく書いている。 <table><tr><td colspan="2">ひご</td><td colspan="3">ねん土玉</td></tr><tr><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td><td>オ カ</td></tr></table>	ひご		ねん土玉			ア	イ	ウ	エ	オ カ	5
ひご		ねん土玉																
ア	イ	ウ	エ	オ カ														
5 10 点	(1)		⑩	技能	○ いずれか一方のみ正しい答えを書いている。	2	○ 両方とも正しく書いている。 なわとび・・・4 おにごっこ・・・8	5										
	(2)		⑪	関心	○ 数の大小に着目しているが、その数については書かれていない。 (例) ・2番目に多いのは、おにごっこです。 ・1番少なかったのは、なわとびです。 ○ 数の大小に着目しておらず、遊びとその人数を書いている。 (例) ・おにごっこは、8人です。 ・なわとびは、4人です。 ○ 数の大小に着目しているが、遊びの順番を部分的に示している。 (例) ・ドッジボールは、おにごっこより多いです。 ○ 数の大小に着目していないが、遊びの人数の差や和に着目して書いている。 (例) ・ドッジボールとなわとびのちがいは、5人です。 ・ドッジボールとおにごっこを合わせると17人になります。	3 3 3	○ 数の大小に着目して、遊びとその数を書いている。 (例) ・2番目に多い遊びは、おにごっこで8人です。 ・3番目に多い遊びは、サッカーで6人です。 ・1番少ない遊びは、なわとびで4人です。等 ○ 数の大小に着目して、遊びの順番を数の多い順(少ない順)にすべて示している。 (例) ・数が多い順にならべると、ドッジボール、おにごっこ、サッカー、なわとびです。等 ○ 数の大小に着目して、遊びの人数の差や和に着目して書いている。 (例) ・一番多かったドッジボールと一番少なかったなわとびのちがいは、5人です。 ・一番多かったドッジボールと2番目に多かったおにごっこを合わせると、17人になります。等	5										
6 10 点	(1)		⑫	技能			3m 4 6 cm	5										
	(2)		⑬	知識			イ	5										

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
7 10 点	(1)		⑭	技能			(午前) 9 (時) 10 (分)	5
	(2)		⑮	考え	<p>○ 答えのみ正しく書いている。 答え (午前) 9 (時) 20 (分)</p> <p>-----</p> <p>○ 答えは不正解だが、式で表していて考え方を読み取ることができる。 $10分 + 40分 = 50分$ 午前10時10分 - 50分</p> <p>-----</p> <p>○ 答えは不正解だが、図に午前10時10分から50分さかのぼったということが書きこんであり、考え方を読み取ることができる。</p>	3 3 3	<p>○ 式に表したり、図に正しくかいたり、考え方を言葉で説明したりするなどして、正しい答えを求めている。 (例) ・ 式を書いて求めている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $10分 + 40分 = 50分$ 午前10時10分 - 50分 = 午前9時20分 </div> <p style="text-align: right;">等</p> <p>・ 数直線の図に線や矢印をかいて、求めている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <p style="text-align: right;">等</p> <p>・ 時計の図に線や矢印や言葉をかいて、求めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p>※矢印と長針で</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>※矢印のみで</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>※長針のみで</p> </div> <p style="text-align: right;">等</p> <p>※ 図は数直線・時計のどちらかに記入して考えていけばよい。</p> <p>・ 言葉で説明して求めている。 「歩いた時間と電車の時間を合わせて、50分なので、午前10時10分から50分前の時刻は、午前9時20分です。」</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>答え (午前) 9 (時) 20 (分)</p>	5

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点												
8 15 点	(1)		⑩	考え			○ 次の答えのいずれかを書いている。 【答え1】 【答え2】 【答え3】 <table><tr><td>ア…2まい</td><td>ア…2まい</td><td>ア…0まい</td></tr><tr><td>イ…4まい</td><td>イ…0まい</td><td>イ…2まい</td></tr><tr><td>ウ…0まい</td><td>ウ…4まい</td><td>ウ…2まい</td></tr><tr><td>エ…0まい</td><td>エ…0まい</td><td>エ…2まい</td></tr></table> ※0を書いていなくても可とする。	ア…2まい	ア…2まい	ア…0まい	イ…4まい	イ…0まい	イ…2まい	ウ…0まい	ウ…4まい	ウ…2まい	エ…0まい	エ…0まい	エ…2まい	5
	ア…2まい	ア…2まい	ア…0まい																	
	イ…4まい	イ…0まい	イ…2まい																	
ウ…0まい	ウ…4まい	ウ…2まい																		
エ…0まい	エ…0まい	エ…2まい																		
(2)		⑪	知識	○ いずれか一方のみ正しい答えを書いている。	2	○ 両方正答 <table><tr><td>アイ ⊕ エ</td><td>4 cm</td></tr></table>	アイ ⊕ エ	4 cm	5											
アイ ⊕ エ	4 cm																			
(3)		⑫	考え	○ 次の点について書いていれば、それぞれ1点ずつ加算するものとする。 ・ぴったり入るはこは <table><tr><td>オ</td></tr></table> と書いている。(1点) ・ボールの直径は4 cmであることを求めている。(1点) (例) $2 \times 2 = 4$ ・ボールの直径(半径)をもとに、はこの横・縦のいずれかにぴったり入ることを書いている。(個数を求めているも可とする)(1点) 横・・・ $8 \div 4 = 2$ (横に2こ)(1点) たて・・・ $12 \div 4 = 3$ (たてに3こ)(1点) ・正しい図をかいている。(1点) ※ 上のすべての点を書いていれば5点(十分満足できる状況)であり、ふれていない場合は減点するものとする。	オ	1 ～ 4 <														
オ																				

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
9 10 点	(1)		19	知識	○ いずれか一方のみ正しい答えを書いている。	2	○ けんじさんと□ウ, あおいさんと□アを線で結んでいる。 ※ 図で示すと、下のとおり。 けんじさんの考え あおいさんの考え 	5
	(2)		20	関心	○ 3つの数を書いている。 (8), (4), (5) 等 ----- ○ 3つの数について、1通りだけ式を書いて正しく計算している。 (例) ・ $8 \times 4 \times 5 = 160$ または, ・ $8 \times (4 \times 5) = 160$ のいずれかを書いている。(2点) ・ $8 \times 4 = 32$ $32 \times 5 = 160$ または, ・ $4 \times 5 = 20$ $8 \times 20 = 160$ のいずれかを書いている。(2点)	1 各 2	○ 3つの数を選び、選んだ数の2通りの計算結果が等しいことを書いている。 ・ (8), (4), (5) 等 ※ 3つの数の組み合わせが, (3), (4), (5) 等, 例示の数の組み合わせ以外であれば可とする。 ・ $8 \times 4 = 32$ $32 \times 5 = 160$ $4 \times 5 = 20$ $8 \times 20 = 160$ 計算のじゅんじょを入れかえても答えは160で同じになった。 ・ $8 \times 4 \times 5 = 160$ $8 \times (4 \times 5) = 160$ 計算のじゅんじょを入れかえても答えは160で同じになった。 等 ※ 上記の例において、計算後、答えが等しければ、結論を言葉で書いていなくても可とする。 ※ 示し方は、2つの計算の結果が等しいことが分かれば可とする。	5

【授業改善の視点】

乗法に関して成り立つ性質について、数量の関係を式に表したり、式から考え方を読み取ったり、式と図を関連付けたりする活動を行い、式への関心を高め、式に表すことや式を読みとることについての習熟を図る活動を取り入れる。